

洋友滋賀

三洋電機洋友会滋賀地区

発行人 田中國夫
編集人 片岡耕作 池上浅夫

同好会活動報告

洋友滋賀には全部で10の同好会があります。「人生に潤いを」と、年々活動は活発になっており、多くの方が旧友と楽しんでおられます。先月号(歩こう会、グランドゴルフ、カラオケ)に引き続き、パートⅡをお知らせします。

ゴルフ同好会

平岩誠史

年11月28日の名神竜王GCコンペで117回になりました。奇数月開催の年6回で計算すれば、20年前の平成8年の発足になります。

	年1回でも参加した	延べ参加人数	開催回数	平均参加人数
H25年	41名	147名	6回	24.5名
H26年	34名	133名	5回	26.6名
H27年	39名	158名	6回	26.3名
H28年	37名	166名	6回	27.7名

会員の「幹事役」と「費用」の負担を軽くするために、次の2点は引き続き継続したいと思えます。まず、「幹事役」は洋友会役員が常任幹事を務めます。2点目の「費用」について、

洋友会の資金補助もあり会費を減額します。(会費1500円/賞金・賞品代の減額)

ゴルフは80歳でも出来る
余暇の充実と
健康維持に最適!

ゴルフ同好会では、「ゴルフは80歳でも出来るスポーツ」を掲げています。現時点の会員の年齢構成は、80歳以上が7名、70歳代が17名、60歳代が11名、50歳代が2名の37名で、平均年齢は72歳です。また、昨年28年に参加された37名の内19名(51%)の方は10年前の平成18年から参加されています。80歳以上7名の方々も全員10年前から参加されています。また、会員登録70歳代17名の内12名が参加されました。健康を維持し、定年後をエンジョイするためにも運動は必須です。会員のの中には洋友会のゴルフコンペには参加しなくても、色々な付き合いの中でゴルフを楽しんでいる方はたくさんおられます。今後も多くの方々に参加いただけるよう、会の運営に努めて参ります。初参加大歓迎です。

第117回GC/優勝 奥 俊一郎さん



H28年11月28日 第117回GC 名神竜王CC

山歩き同好会

藤田三男

体力に合った山 季節に合った自然を体感

山歩き同好会の発足は平成15年2月です。現在登録会員数は32名で、年間9回の活動を行っております。(2月・8月・12月は休み月)

昨年も9回の計画を立て、8回実施できました。年々高齢化する中、平均参加人数は8・1名でした。

○1月は太郎坊宮から豊郷で新年会
○3月は如意ヶ岳から大文字山へ

○4月は喜撰山から宇治へ

○5月は宇賀溪谷から竜ヶ岳へ

○7月は青龍山からキリンビール工場

○9月は金勝アルプスへ

○10月は千畳敷カールから木曾駒ヶ岳

○11月は赤坂山散策

昨年度は標高2千9百mの木曾駒ヶ岳に快晴の下登頂できました。

今年も歩行距離4千mから8千m、標高差2百mから8百m程の体力に合った山で、季節に合った自然が体感できる近場を計画してまいります。

計画は、毎月1回幹事の方と相談の上、月報でお知らせしていきます。

下の写真は昨年の思い出の写真です。興味のある方は是非声をかけてください。



4月大文字山



1月 赤神山



9月 狛坂磨崖仏



5月 竜ヶ岳



10月 木曾駒ヶ岳



10月 千畳敷カール

写真クラブ

片岡耕作

自分の感性で
好きなものを
好きなように撮ればよい

写真クラブは現在15名の会員で「好きなものを好きなように撮ればよい」の精神でお互い楽しんでいきます。
主な活動は月例の勉強会、既に124回実施、また2ヶ月に一度の撮影会は来月実施で71回目になります。そして、年に一度の展示会は一年の集大成として大津生涯学習センターで開催しています。今年で早や9回目を迎えます。



第55回滋賀県写真展覧会 「特選」
タイトル「絆」松岡憲一さん



その他、洋友滋賀のHPにはフリー作品を常に掲載しております。また、色々なコンテストにも応募し、入賞される方がおられます。
そもそも何故写真を撮るかですが、単純に楽しい、うまく撮って人に褒められたい、賞を取りたい等、動機は様々ですが、最初は誰もが初心者です。カメラの使い方も分からないければ、露出やシャッタースピード等の知識も無い。私もそうでしたが、勉強会等でベテランの方に教えるを受けることによって、その醍醐味を感じるようになってきます。
左上2枚の写真は月例の勉強会「フोटオサロン」の模様です。プロジェクトを使うの自作品の発表会で、「こ

れはいいよ！また、「そこはカットした方が構図が安定するぞ」：云々」等、わいわいがやがや楽しい一時です。
厳しい評価にも耐え、カメラの使い方も分かってくると、生気にも、目の前に現れた景色や、街角で出会う光景とどう向き合っどう切り取るか、被写体と対峙してカメラを構える：実に楽しい瞬間です。
中段3枚の写真は撮影会の集合写真です。
四季折々の風景を、県内外問わず訪れ、また回数はず少ないですが、1泊2日の撮影会も開催しています。

洋友滋賀写真展示会

左の写真は会員15名の「洋友滋賀展示会」の会場の模様です。
「洋友会」の名前を世間に露出、発信する唯一の場です。
今年は、第9回展示会を5月2日(火)から7日(日)の6日間、大津生涯学習センターで開催します。皆さん、是非ご鑑賞ください。

- 「過去5年間の来場者数」
- ・第4回平成24年/7日間 753名
 - ・第5回平成25年/5日間 565名
 - ・第6回平成26年/6日間 489名
 - ・第7回平成27年/6日間 548名
 - ・第8回平成28年/6日間 489名

げんき会

網谷洋子

「げんき会」発足4年目

洋友滋賀の同好会「げんき会」は、平成25年に女子会員18名の交流の場として誕生しました。まだまだ参加率も低いですが、気軽に参加頂け、楽しめる機会を作りたいと思っています。

今回は、昨年11月18日に実施した「秋の交流会」の模様をご紹介します。参加者は10名、絶好の天候に恵まれ、瀬田川の岸辺を彩る観光船の旅と、晩秋の石山寺参拝を実施しました。

参加者は、瀬田川リパークルーズを楽しむ乗船組と、石山寺前の催事「牛玉さん」の散策組の二グループに分かれて楽しみました。

素晴らしい紅葉に

地元瀬田川を再発見

乗船組はレトロな外輪船で瀬田川びわ湖へのクルージングです。少し肌寒い感じでしたがデッキに上がり、両岸に紅葉を配する景色は瀬田川の素晴らしさを再発見するほどのものでした。また、観光客が与える「かっぱえびせん」で、船の回りに寄って来るユリカモメをシャッターチャンスとばかりに激写、普段岸から見る景色と違い、大変爽快な気分になりました。



下船後、散策組と合流して石山寺へと向かいました。境内は紅葉真っ盛り。今年33年に一度の御開扉という幸運にめぐり合い、本尊如意輪観世音菩薩を「次の33年後は来れないね…」と、談笑しながら特別拝観させて頂きました。

昼食は、門前近くの瀬田名物「志じみ釜飯」を食しながらの団欒、天気良し、紅葉良し、楽しい貴重な一日を堪能することが出来ました。

参加者からは、定期的開催して欲しいとの要望もあり、世話役冥利に尽きるお言葉も頂きました。次回を約束し解散となりました。

次回をもっと多くの方の参加をお待ちしております。

